



●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。※ 内はロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

- 枠と扉（本体）のブランドラベルに防火戸FG-Cと表示されていることを確認してください。枠と扉（本体）ともに防火戸FG-Cを使用しない場合、遮炎性能を満たしません。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

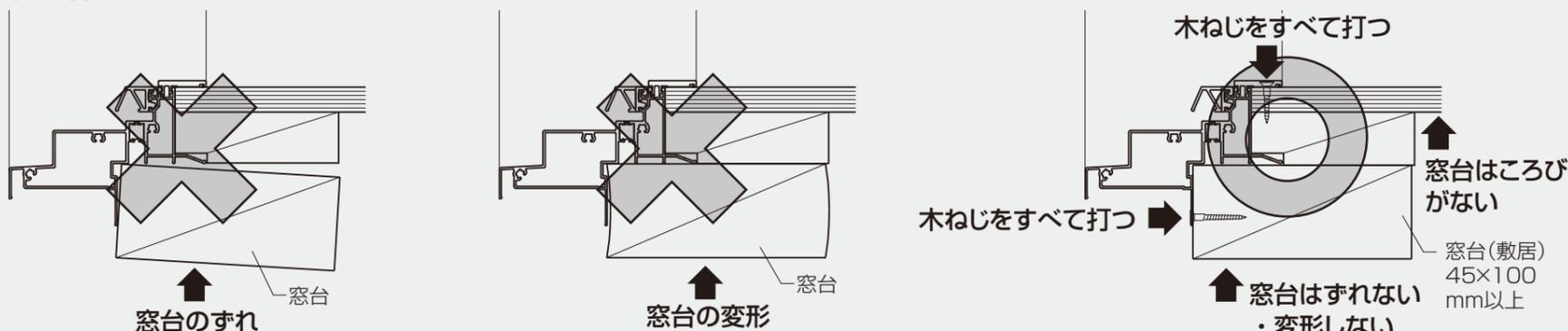
▲注意

● 扉（本体）吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。

（組立て後の本体重量は最大65Kgになります。）

● 風のおりなどによる扉（本体）の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・扉（本体）の開閉不良、サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・ 必ず45mm×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。



- ・ 吊元側（丁番側）の枠は、くだ柱に取付けてください。やむを得ず間柱に取付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁（30mm×90mm）を入れてください。

- ・ 枠の水平・垂直を必ず出して取付けてください。

● 漏水防止のため、下記事項をお守りください。

- ・ 本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

- ・ 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

- ・ 開き窓テラスを浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

■取付け上のおお願い

- 必ず指定の木ねじで枠を固定してください。
- 縦枠は必ず垂直に取付けてください。
- 扉（本体）は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
- 扉（本体）の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているか確認して取付けてください。

■取付けねじ一覧表

①	皿木ねじ φ3.8×38	
②	皿木ねじ φ3.1×20	

■サッシ枠のフレ・ツツミ

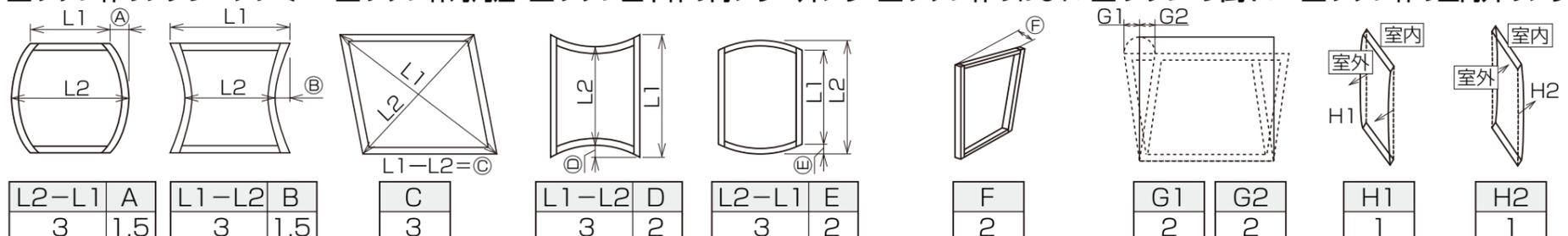
■サッシ枠対角差

■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ

■サッシ枠のねじれ

■サッシの倒れ

■サッシ枠の室内外のソリ

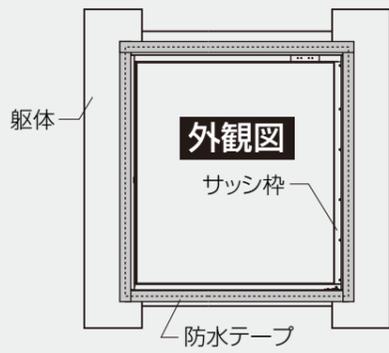


取付け順序

1 躯体の確認と補強

▲ 注意

- 吊元側（丁番側）の枠は、くだ柱に取付けてください。やむを得ず間柱に取付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁（30mm×90mm）を入れてください。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



2 枠の仮止め

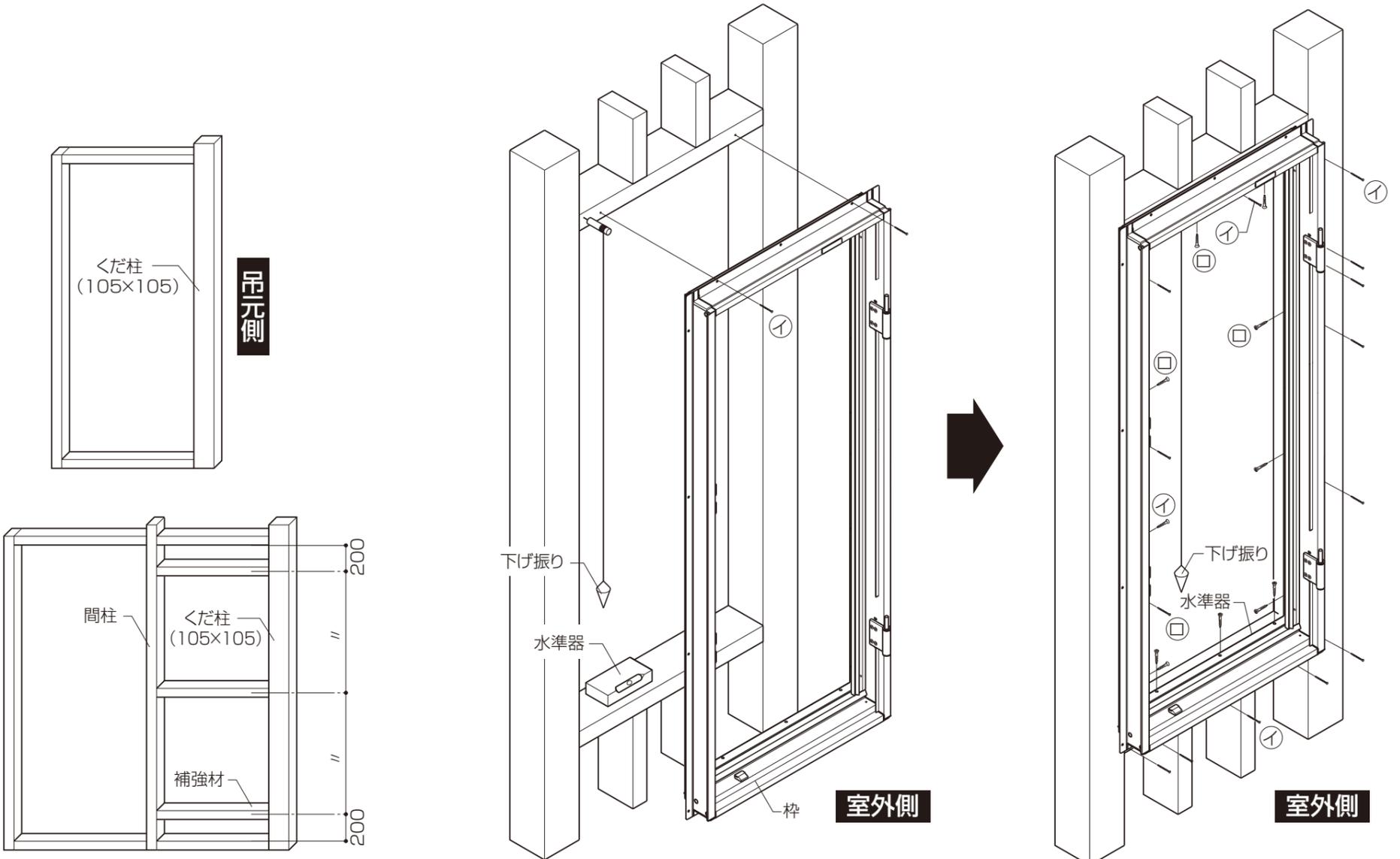
- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

▲ 注意

- 枠の水平・垂直を必ず出して取付けてください。

3 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。
- ※ 縦枠は、必ず垂直に取付けてください。（開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。）



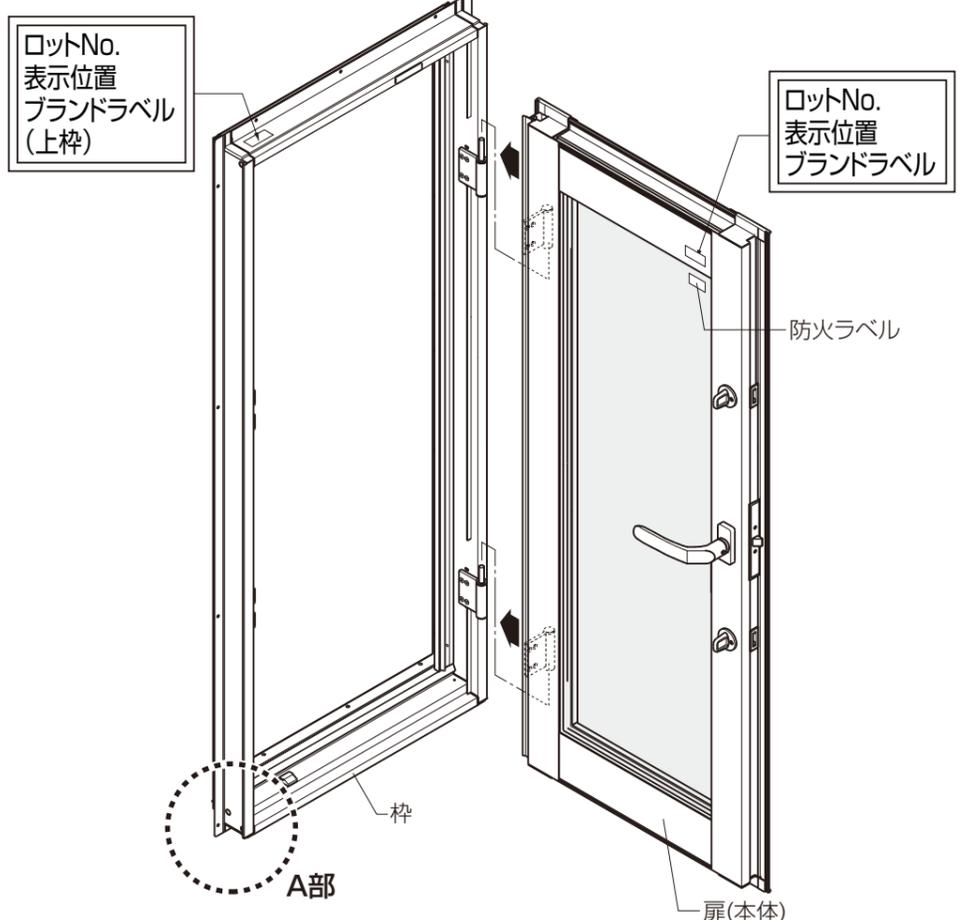
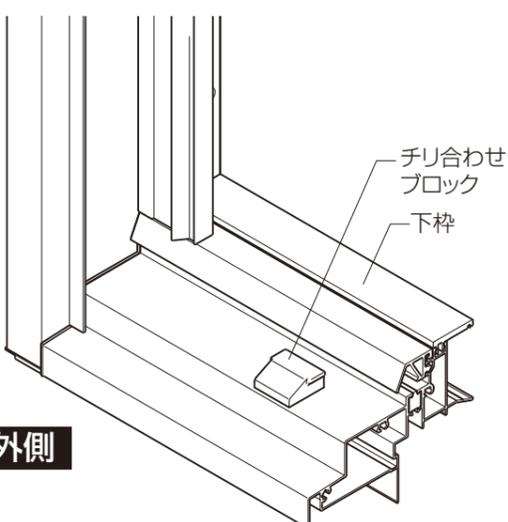
4 本体の吊込み

- ① 扉（本体）を90°以上開き、上の丁番から吊込みます。
- ② 下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。

お願い

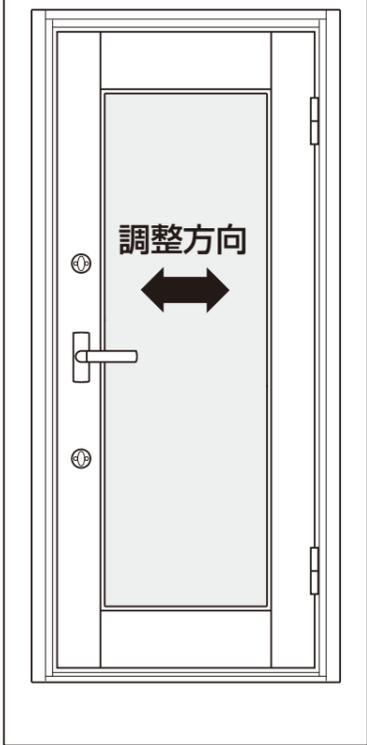
- ※ 取付け完了後は必ずチリ合わせブロックを取外してください。（扉（本体）の開閉に支障がでます。）

■ A部詳細図

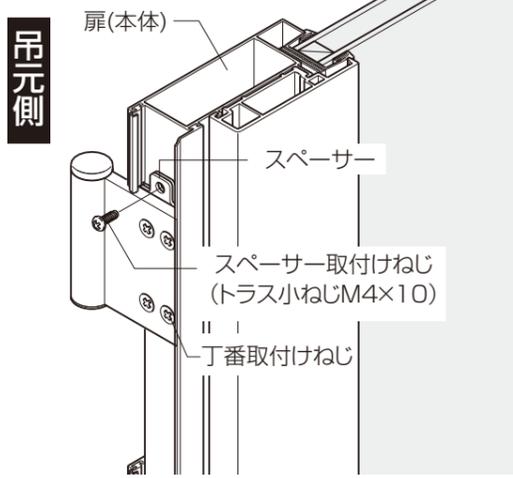


■建付け調整……ここで説明する建付け調整は、枠を取付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

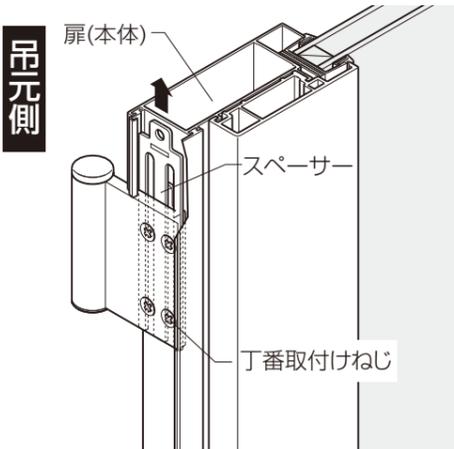
■左右方向の調整



- ※スペーサーはあらかじめ扉(本体)に取付けてあります。
- ①扉(本体)を枠から外します。
 - ②スペーサー取付けねじを外します。
 - ③丁番取付けねじ(4本)を緩めます。



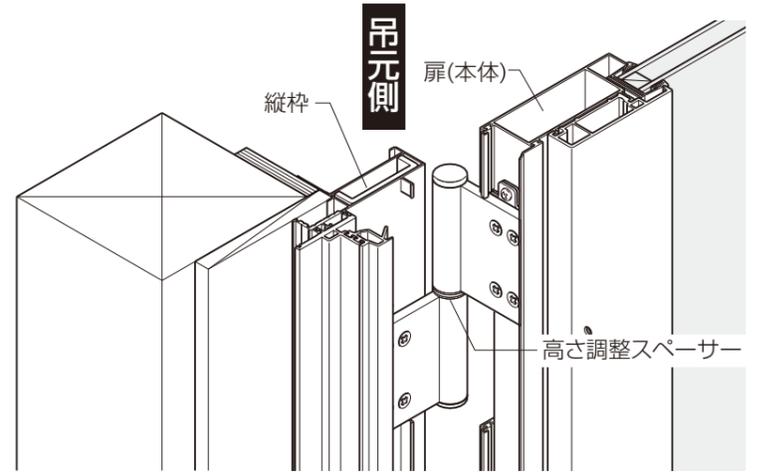
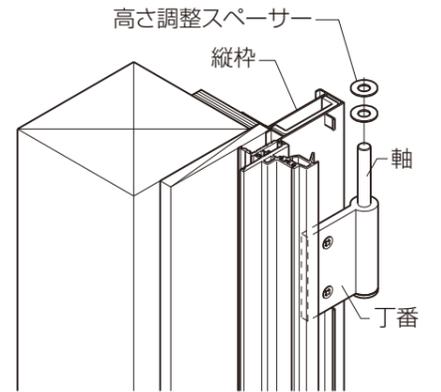
- ④スペーサーを引抜いて外します。
 - ⑤丁番取付けねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm、扉(本体)が吊元側へ寄ります。
 ※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。
- ⑥扉(本体)を吊込みます。



■上方向の調整



- 扉(本体)を枠から外し、丁番の軸に高さ調整スペーサー(丁番に同梱)を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm扉(本体)が上がります。

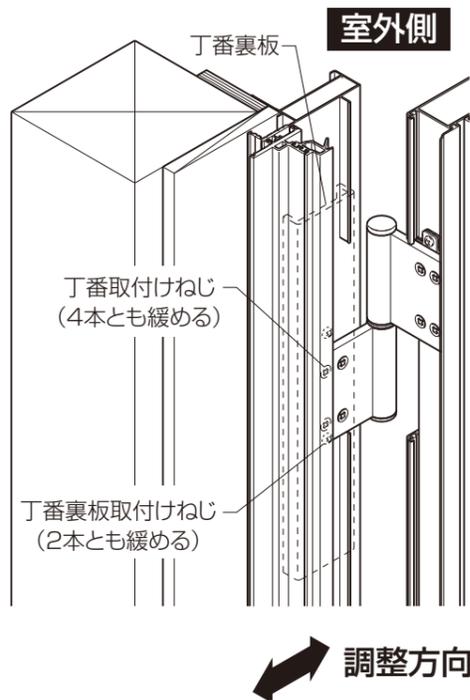


■前後(室内・室外側)方向への調整

- ①扉(本体)を枠から外し、枠側の取付けねじ(4本)と丁番裏板取付けねじ(2本)を緩めます。

お願い
 ※取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落します。

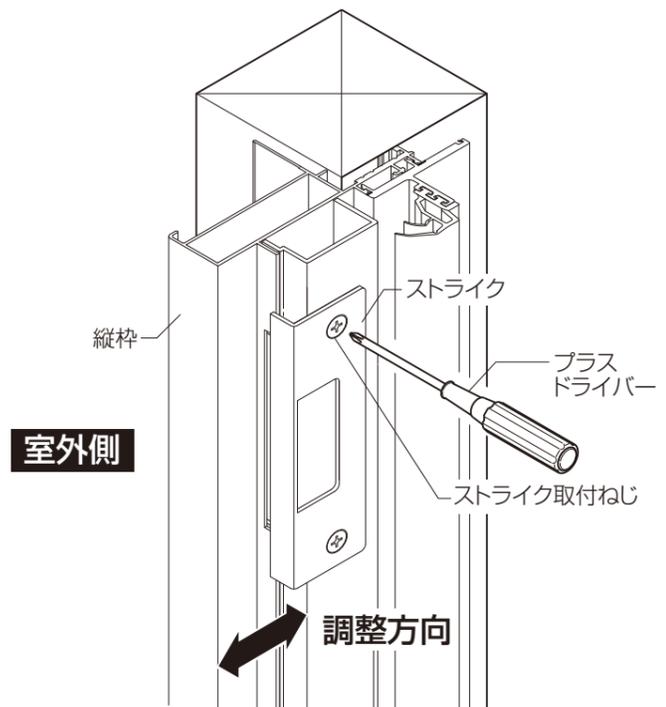
- ②丁番裏板ごと室外側に1.5mm、室内側に1.5mm、扉(本体)を移動させることができます。
- ③①で緩めた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。



■ストライクの調整

ラッチ、ロックの掛りがきつい場合は、ストライクの位置を調整してください。

●前後方向への調整



- ①ストライク取付けねじ(2本)を緩めます。
- ②ストライク位置を調整します。